



瀬尾 稜那 さん
せお・りょうな
東城高等学校
普通科 2年

自分の住んでいる町のことを
見つめ直していきたい

河原 私も皆さんと一緒に、
学校では政治の仕組みなどを
学ぶことはもちろんですが、
それを踏まえて、自分が投票
することの責任の重さという

市長 政治というものを語る
のは難しいですが、例えて言
えば、国や県、市町村の代表
者がこういう国をつくりたい、
こういう町をつくりたいとい
う思いをもって、まちづくり

を学ぶ機会を設けてもらえる
とうれしいです。
瀬尾 選挙は親が行くものと
いうイメージしかありません
でしたが、選挙権が18歳に引
き下げられたということ、
身近に感じるようになって思
いますし、受動的ではなく能
動的に政治のことを学んでい
かないといけないと思っていま
す。



ものも学んでいくことが大切
だと思います。

瀬尾 庄原市では数多くのイ
ベントが行われていますが、
それを知っている人が少ない
ので、もっとPRしたほうがい
いと思います。それと交通の

―庄原市のまちづくりについ
て話が広がってきましたので、
庄原をこういう町にしたい、
なっってほしいという思いやこ
意見を聞き聞きます。

「学校にこうしてもらいたい」
という思いを伝えることも、
実は政治につながっています。

―当選者の考えが自分と少し
違うという場合は当然ありま
すが、当選者は有権者の声を
聞いていかなければなりません。
先ほど学校でも選挙につ
いて勉強する機会を設けてほ
しいと言われましたが、「こ
ういうことをもっと学びたい」
という思いを伝えることも、
実は政治につながっています。

を考へ、さまざまな人の考へ
や意見を聞きながら決断して
いくことです。
―ですので、まずは「庄原市
をこんな町にしてもらいたい」
という自分の考えをしつかり
持つことが大切だと思います。
選挙のときに自分の考へと立
候補者の考へが合えば、政治
に対する興味も湧いてくる
と思います。

不便さを感じます。訪れてく
れた方が移動しやすいかたち
で交通の便が良くなれば、ま
ちづくりにもつながると思
いますし、イベントなども知
ってもらえるチャンスが増える
のではないかと思います。

河原 もっと人口が増えてほ
しいです。私の近所にエコス
トープを作っている人がいて、
その方にお聞きすると、震災
を受けた東北地方にも送り、
それが復興の一助になっている
と話されていました。

―それを庄原市全体で取り組
んでみてほしいと思います。田
舎だからこそその発想と、環境
にも良いといったアピールをし
ていくことで、市のPRにもつ
ながるのではないのでしょうか。

三谷 中学生の頃から地元西
城町で比婆荒神楽愛好会に
所属し活動していますので、
神楽の活動をもっと多くの
人に知ってもらい、神楽を通
して庄原というところをもっ
と知ってもらいたいですね。



木山 耕三 市長
きやま・こうぞう



酒井 庄原の抱える課題の一
つとして、少子高齢化がある
と思います。庄原を出て行っ
た若者を呼び戻すことが必要
だと思いますが、そのために



平成28年新春座談会

皆さん、明けましておめでとうございます。新しい年の幕明けです。
ことしは大きな出来事として、選挙権年齢の引き下げがあります。
満18歳から選挙権が付与されることから、これまで以上に若い人の政治への
参画が期待されます。
今月は、70年ぶりの制度改革で注目される「選挙権」とまちづくりをテーマに、
市内の高校生と木山耕三市長による座談会をお届けします。

酒井 選挙権年齢が引き下げ
られたのは、政治に関心の無
い若い人たちにもっと政治に
興味を持つてほしいという意
図があるように思います。大
半の高校生が政治に関心はな
いと思いますし、選挙が何な
のかというのが高校生は分か
らないので、授業などで政治

政治に対しては、ニュースな
どでよく憲法改正の議論が取
り上げられるので、そのイメ
ジが強いです。

三谷 私も18歳になりました
ので、選挙はすごく身近に感
じます。まずは選挙の仕組み
を知る必要がありますし、自
分が投じる1票がどういうも
のなのかを知る必要があります。
ですので、学校の授業を
通じて勉強していく必要があ
ると思います。

―本年6月からは満18歳で選
挙権が与えられることになり、
高校生の皆さんも選挙で投票
することで政治に参加するこ
とができるようになります。
皆さんは、政治や選挙につ
いてどういうイメージを持っ
ていますか。

進行・情報政策課広報広聴係



三谷 敏実 さん
みにたに・としみ
西城紫水高等学校
普通科 3年

庄原の神楽の素晴らしさを
もっと多くの人に知ってほしい

瀬尾 私も受験生で、自分の好きな英語を生かせる大学に

ランテニアで清掃活動やお通

酒井 今は自分の力を伸ばしていきたいので、資格・検定に
ポランテニア活動にも積極的に参加していききたいと思いま
す。今年を受験生ということ
で、目標は大学合格です。自
分の行きたい大学に合格でき
るように、勉強を頑張りたい
です。

行けるよう頑張りたいです。
1月末に姉妹校のアメリカの
高校に行く機会があるので、
庄原や東城のことをしっかり
紹介できたらと思っています。
そのためにも、自分の町を見
つめていきたいと思っています。
学校では生徒会を中心にポ
ランテニアで清掃活動やお通



市長 私も庄原市の代表とし
て、庄原市のPRに努力して
いきたいと思っています。
今日は選挙権とまちづくり
の話が主でしたが、冒頭にも
申し上げたように、選挙権を
きっかけに、ぜひ自分の考え
を持つてほしいですし、そうい
う思いを形にしていきたいと
考えていますので、意見・ア
イデアをどんどん出してほし
いと思います。

会へ出ても、いずれは庄原に
帰ってみたいという思いにも
なってもらえるだろうし、帰っ
て来てほしいと思います。そ
のためにも懐かしさが残るま
ち、安心、安全、心の豊かさ
を感じられるまちづくりをし
たいと思います。
昨年、道の駅たかのから東
城インターチェンジまでを結
ぶ道路を「比婆いざなみ街道」
と命名し、この沿線にある資
源に光を当て、磨くことで庄
原市の魅力を一体的に発信し
ています。この中には神楽で
あったり、祭であったり、皆さ
んの心に残っているものも多
くあります。
交通の利便性というのは、
若い人だけでなく、お年寄り
が買い物をする利便性を考え
た交通体系も必要で、だれも
が使いの利便が良いものに工夫
する必要があります。
エコの話も出ましたが、私
も都会へ出て帰ってきたとき
に、風呂を炊く煙が煙突から
出ている光景を見て、子ども
ながらに「ほんまに田舎は良
いのう」と感じていました。
今日いただいたご意見は今
後のまちづくりの参考にさせ
ていただきます。

将来は庄原に帰り
活躍できる人材になりたい



河原 実保 さん
かわはら・みほ
庄原実業高等学校
環境工学科 3年

は、家族や友人などと庄原で
過ごした思い出、好きな場所
などが変わらぬところがある
大切だと私は思います。その
人その人、みんな大切な場所
があると思います。

のではなく、今あるもの、大
切な場所を残していく。そう
いうまちづくりも必要だと思
います。それが帰郷へとつな
がってくると思います。



市長 参考になる良い話を聞
かせていただきました。私が
掲げている「やっぱり庄原が
いちばん」は、ほかよりも優
れているというのではなく、庄
原が良い、やっぱり庄原に生
まれて良かった、家族と一緒
いるときに一番良い、そうい
った気持ちの部分表現してい
ます。
庄原が一番いいという思いが
あれば、大学進学や就職で都

市長 参考になる良い話を聞
かせていただきました。私が
掲げている「やっぱり庄原が
いちばん」は、ほかよりも優
れているというのではなく、庄
原が良い、やっぱり庄原に生
まれて良かった、家族と一緒
いるときに一番良い、そうい
った気持ちの部分表現してい
ます。
庄原が一番いいという思いが
あれば、大学進学や就職で都



と過ごしたいと思っています。
大学では勉強はもちろんで
すが、地元で10年間習った剣
道も続けていきながら、資格
習得にも力を入れ、将来は農
業土木技術者として庄原に帰
り、活躍できる人材になりた
いと思っています。

最後に、今年1年どのよう
な年にしたいですか。また、
今後の目標も教えてください。

三谷 私は就職先が決まりま
した。仕事に就くということ
は社会に出るということなの
で、今までは全く違う世界
ですが、そういった環境にい
ち早く慣れて、社会の役に立
てるように頑張っていきたい
です。
また、就職しても比婆荒神



酒井 里菜 さん
さかい・りな
庄原格致高等学校
普通科 2年

大切な場所が残っていることが
古里に帰る理由になると思う



ことしの干支は「申」。
ひよっこりヒバゴンが現れ皆さんを出迎えました。